

西郷村米児童クラブ室整備設計・施工業務
公募型プロポーザル審査報告書

西郷村 福祉課

西郷村米児童クラブ室整備設計・施工業務 公募型プロポーザル審査報告書

1. 本プロポーザルの実施目的

本プロポーザルは、「米児童クラブ室」整備にあたり、品質の確保、コスト縮減及び工期短縮等を勘案し、設計・施工業務の一括提案を広く募集し、優れた提案者を選定することを目的に実施した。

2. 本プロポーザル関連の日程

平成 29 年 7 月 24 日(月) プロポーザル公告
平成 29 年 8 月 7 日(月) プロポーザル参加表明書 提出期限
平成 29 年 9 月 6 日(水) 技術提案書等 提出期限
平成 29 年 9 月 15 日(金) 1 次審査及び 2 次審査の実施 (プレゼン・ヒアリング)
平成 29 年 9 月 19 日(火) 優先交渉者及び次点者決定通知

3. 審査体制

プロポーザルの選定にかかわる審査を実施する目的で、「西郷村米児童クラブ室整備に関する公募型プロポーザル審査委員会」を設置した。審査委員会は、技術提案書の評価基準に基づき中立かつ公正に事業者の審査・選定を行った。

4. 審査経過

(1) 1 次審査

ア 応募資格の確認

参加表明者数 4 者

提案書提出者数 3 者

イ 審査

1 次審査の評価基準（事業者の実績、技術者の実績、見積価格）に基づき、提出書類を確認のうえ審査を行った。

■ 1 次審査評価基準

評価項目		評価内容
1. 実績	(1) 事業者の実力	事業者の主要業務実績、同種・類似業務実績、技術者数・有資格者数等
	(2) 担当技術者の能力	担当技術者の資格・経験、同種・類似業務実績
2. 見積価格		$\text{= (最低価格 / 対象者の価格)} \times \text{価格配点}$

(2) 2 次審査

ア 提案書提出者数が 5 者以内であったので、3 者全てプレゼンテーション及び

ヒアリングを実施した。

イ 審査

2次審査の評価基準（設計提案課題、施工提案課題）に基づき、技術提案書の内容について、プレゼンテーション及びヒアリングを実施のうえ審査を行った。

■第2次審査評価基準

評価項目	評価内容
1. 設計提案	<ul style="list-style-type: none">・本業務の理解度・設計提案の的確性・実現性 <ol style="list-style-type: none">①隣接する米小学校等周辺施設や自然環境と調和した外観の提案②子どもたちや職員に配慮した安全で快適な間取り、構造等の提案③環境に配慮した経済的な構造や設備及び災害時防災対策の提案
2. 施工提案	<ul style="list-style-type: none">・工程計画の妥当性・施工提案の的確性・実現性 <ol style="list-style-type: none">④工事中の安全対策や品質管理方法等施工に関する提案⑤地域貢献や地元産業の活用に関する提案⑥工期短縮や施工費及び維持管理費の縮減の提案

5. 業者選定

(1) 優先交渉者

大和リース株式会社福島支店

(2) 次点者

白岩工務店・辺見美津男設計室特定建設工事共同企業体

6. 審査講評

<優先交渉者>

南北に広がる広大な森と北東に広がる田園風景にとけこむ和をイメージした外観であり、色彩計画として屋根は日本瓦をイメージしたグレー系、外観は漆喰壁となまこ壁をイメージしたホワイト系とグレー系の落ち着いた色調で構成している。玄関は下屋を経由する配置とすることで、雨風や積雪時にも安心して出入りでき、事務室をアプローチ側の玄関に隣接することで子供たちの出入りを確認できる動線計画となっている。下屋は、多目的スペースとしても利用できるように明るく賑わいのある空間となるよう配慮され、北側に設けられたハイサイドライトからは柔らかな自然光と通風を建物内に導く計画となっている。構造形式は軽量鉄骨ブレース構造を採用し、建物軽量化と表層地盤置換工法

により耐震性を高めるとともに工期短縮やコスト削減につなげている。工事中の安全対策や仮設対策も十分である。また、地域貢献や維持管理費削減にも配慮がなされており、手堅い計画であり総合的に優れた計画である。

<次点者>

意匠計画的には最も優れた案である。敷地周辺の森や遊歩道、藤棚などの周辺環境にも調和している。建物平面は見通しの良いシンプルな間取り計画であり、空間的にも木のぬくもりに包まれる木造施設である。クラブ室やプレイルームは木造トラス構造とすることでシンプルな無柱空間とし、事務室等は一般流通規格材を使用した在来軸組工法を採用している。木材は県産材を使用するなど地元産業や周辺地域への貢献に十分な配慮がなされている。工事用の仮囲いの一部を透明にし、工事現場をのぞけるようにすることで建物のできる過程を子供たちに学ばせる配慮など具体的な子どもの視線からの提案がなされている。しかしながら、日射負荷の大きな南側にハイサイドライトを設けたことは適切とはいいがたく、春秋の中間期の室内の温度上昇が懸念される。また、設計期間の短さや木材の調達にも不安が残る。事業工期が十分であればぜひ採用したい提案である。

本プロポーザルの実施にあたって、参加者の皆様には短い時間で多大な労力を費やしていただき心から感謝申し上げます。

平成29年9月19日

西郷村米児童クラブ室整備に関する公募型プロポーザル審査委員会
委員長 森山 修治

西郷村米児童クラブ室整備に関する公募型プロポーザル審査委員

	氏名	所属・職名等	
委員長	森山 修治	日本大学 工学部	教授
委員	滝浪 正光	滝浪正光建築計画研究所	一級建築士
委員	西坂 雄治	西郷村子ども・子育て会議	会長
委員	田村 剛	米児童クラブ保護者会	会長
委員	相川 博	西郷村児童クラブ連合会	会長
委員	大倉 修	西郷村	副村長
委員	鈴木 且雪	西郷村教育委員会	教育長
委員	緑川 浩	西郷村教育委員会	生涯学習課長
委員	田中 茂勝	西郷村	企画財政課長